

# ななかまど

NANAKAMADO

Hokkaido Information University Magazine

Volume 77

Published on March 20, 2022

# Liveliness

特集

活発に活動する学生たち





# Liveline

新型コロナウイルスとの共生も2年が経過しました。

未だ行動は制限され、それは本学においても例外ではありません。

しかし、そんな中でも学生たち、そして教職員たちも

日々活発に動き、新たなことに挑戦し続け、結果を出しています。

コロナ禍であっても挑む姿勢を忘れない。

連綿と受け継がれてきた情報大のDNAかもしれません。

今回のななかまどでは、“活発に活動する学生たち”をご紹介します。



# SS

## 建学の理念に見る

にしひら じゅん  
学長 西平 順



本学が平成元年に開学し、はや30年以上の月日が経過しました。多くの諸先輩、また教職員の職場への熱心な教育研究活動や大学運営により、本学の基盤は益々強固になり、大学名に相応しい情報教育を核とした高等教育機関として発展してきました。

本学同窓生の社会での活躍の場も増え、特に社会インフラとして重要な情報分野において優秀な人材を輩出してきたからこそ、現在でも社会から必要とされる大学として成長し続けています。ここ数年の入学者の大幅な増加がこのことを物語っており、本学が提供する大学教育の質について社会から高い評価を受けている証であると考えています。

さて、本学が「揺るぎない教育・学問の創造の場」として更に発展するために必要なことは何かを考えてみました。建学の

理念に「情報化社会の新しい大学と学問の創造」という言葉があります。私はここにある「新しい大学と学問の創造」という部分に、大きなヒントが隠されているように感じます。この理念の解釈についてはそれぞれで多様であると思いますが、その本質は、教職員・そして学生が、大きな夢と本学への誇り、そして帰属意識を持ち、一人一人が挑み続ける姿勢を忘れないことであると考えています。「揺るぎない教育・学問の創造の場」を実現するために、全員の力を合わせて、一緒に進んでいきましょう。

保護者の皆さま、同窓生、また関係各位におかれましては、引き続き本学の取り組みへのご理解と温かなご支援をお願いいたしますと共に、本学の更なる発展に向けた取り組みに、是非ご期待ください。

# 情報大の

## Webデザインコンテスト

Webページを制作する過程でコンピュータ技術とコンテンツ制作能力・表現力を磨くことを目的としたコンテストです。今年は14名から応募がありました。

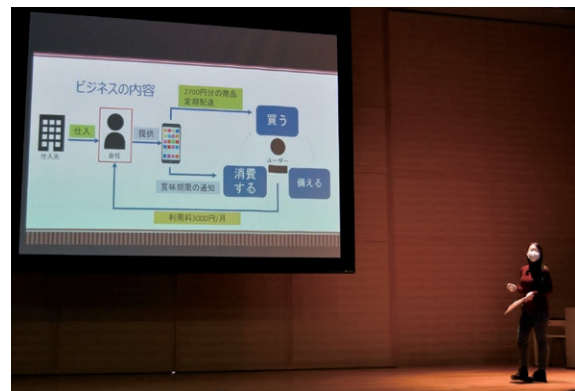
デザインの視点と技術開発的（テクノロジー的）な視点の両方で審査し、最優秀賞に選ばれたのは岩崎 晃和さん、正木 さくらさん（共に情報メディア学科3年生）の作品でした。

本コンテストをきっかけに、Web制作スキル向上や企画力、発想力を養って欲しいです。



岩崎さん、正木さんの作品「コレカラ」

## ビジネスプレゼンテ



本学で学んだ知識を総動員して、新規事業や起業を想定したビジネスプラン、事業アイデアを競うコンテストです。一次審査は書類審査で、二次審査は大勢の聴衆の前でのプレゼンテーションです。プランの実現性や新規性のほか、プレゼン技術や説得力も含めた総合力で



表彰を受ける小松・平塚ペアは3年連続の上位入賞!

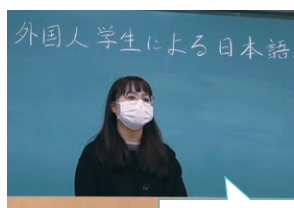
## 外国人学生による日本語弁論大会

外国人学生の日本語能力の向上と日本文化への関心を深めるとともに、外国人学生の日本語能力や活動状況について、

広く理解してもらうことが目的のコンテストです。今年度は2021年11月11日に実施しました。

11名の参加者の中から優秀賞に選ばれたのは、段 文媚さん（先端経営学科4年生）の「新型コロナウイルス感染症について」と、孟 春寧さん（先端経営学科4年生）の「日本で驚いたこと」でした。

日本語で作文し発表することで、普段よりも日本語を学ぶことができたと同時に、日本文化を深く知る良い機会となったようです。



弁論大会の様子

## ポスター

デザイン制作のスキルアップと、自主的な発想で新しい表現に挑戦する場の提供を目的としたコンテストです。8名の参加者が募集期間中に、テーマにあった作品を制作し提出しました。

今回のテーマは2つあり、テーマ1「北海道情報大学のアピール」では、中井 拓海さん（情報メディア学科4年生）、テーマ2「江別市のイメージアップ」では、嶋田 后彩樹さん（情報メディア学科3年生）が最優秀賞を受賞しました。

グラフィックデザインの知識や表現のスキルはもちろん、テーマに沿って自分がどのようなコンセプトを設定するかという企画力も試される場となっています。グラフィッ

にできることを。

# 学生活動

## ーションコンテスト



二次審査の様子 (2021年12月20日)

審査されます。本学で最も歴史が古いコンテストであり、年々、参加者のレベルが上がってきています。

参加者41名の中から最優秀賞に選ばれたのは、小松 将大 さんと平塚 榛 さん (共に先端経営学科3年生) の「そらまめ」でした。

将来、起業を目指す学生はもとより、社内ベンチャーや新商品・新サービスの企画開発など、民間就職を目指す多くの学生にもおすすめのコンテストです。

世の中に出回っている既存の商品・サービスに不足している点や不満を認識して、進歩し続ける情報通信技術 (ICT) を活用しながら、発想力、伝達能力、経営判断のスキルを身につけて欲しいと考えています。

## コンテスト



中井さんの作品「つながり」



嶋田さんの作品「自分らしく、江別。」

クデザインに関わらず、デザイン分野に携わりたい人にはぜひ参加して、力試しや学びの場としてほしいです。

北海道情報大学の学生たちは、コロナ禍でも元気に、そして果敢にチャレンジし、随所で堂々たる結果を残しています。

## ショートフィルムコンテスト

ショートフィルム (短編映像作品) を制作する過程で、コンピュータ技術とコンテンツ制作能力・表現力を磨くことを目的としたコンテストです。14名の参加者は募集期間中に、与えられたテーマに基づいて3分以内の映像作品を制作し提出しました。

今回のテーマは「COLOR」で、優秀賞に選ばれた作品は「過去の自分に花束を」でした。(メンバー：三平のぞみさん / 鶴田つるたさん / 門出ひろやさん / 由梨もんでさん / 小室こむろさん / 大樹だいきさん / 今庄いまいしょうたけるさん / 健こまつさん / 小松じんさん (全て情報メディア学科3年生))

映像が好きな学生には、本コンテストに参加し、映像を通じてコンセプトを伝えることを学んで欲しいと思います。



## コンピュータプログラミングコンテスト

自分でプログラムの構想を練ることで、実践的な開発能力の向上を目的としたコンテストです。12名の参加者は、応募期間中に、プログラムを含む作品と、作品に対する説明書を作成し提出しました。

今回、最優秀賞に選ばれたのは、佃 勇輝 さん (システム情報学科3年生) の作品「BGMスピーカー」でした。

本コンテストは、いつも使っているソフトウェアに不満があり改善したいと思っている人、新しいアイデアがありそれをプログラミングで実現してみたい人におすすめです。



## Red Bull Basement

世界の大学生を対象として、社会を変えるアイデアの実現と次世代イノベーター育成をめざすプログラムの「Red Bull Basement」に、小松 将大 さん、平塚 榛 さん（共に先端経営学科3年生）がエントリーしました。

今年は世界中から4,000を超える大学生チームがエントリーし、集められたアイデアの中から各国1チームが代表として集い、ワールドチャンピオンを選出します。

二人のアイデアは、日本代表を決めるためのファイナルジャッジに進みました。二人は昨年も本プログラムにエントリーし、ファイナルジャッジに進んでおります。

### 二人が提案したアイデア

## SoRaMaMe ～ Sage Recess Make Maneger ～

通勤・通学や旅行時における交通機関の待ち時間を有効に使うためのアイデアです。GPSやAIを活用し、ユーザーの好みに合わせた過ごし方をアプリが提案してくれるというものです。



## 第16回 札幌国際短編映画祭



11月20日(土) 札幌市民交流プラザ

### 特別上映会

写真左から監督の角瀬 新治 さん、助監督の近藤 強 さん、プロデューサーの宇野 裕貴 さん、録音の工藤 輝弥 さん（全て情報メディア学科4年生）

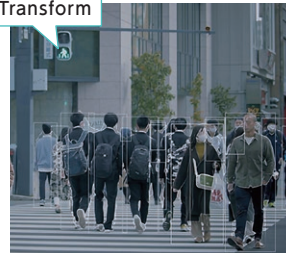
第16回札幌国際短編映画祭において、情報メディア学科3年生が中心となって制作した短編映画「バズれ!大根おろし」と、情報メディア学科卒業生（2021年3月卒）の小俣 一希 さんの卒業制作作品「Transform」が北海道セレクション部門に入選しました。

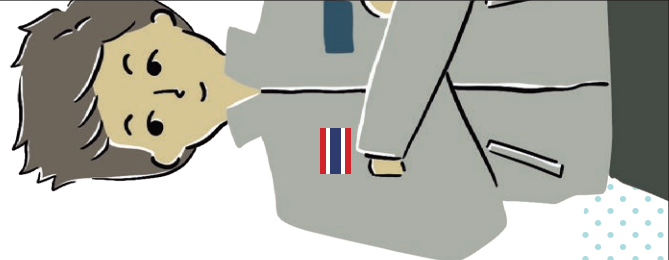
今年の応募数は、105の国と地域から2,960作品。ここから厳選された112本の作品が入選しました。本学の学生が制作した作品は、10年連続の入選となっています。

バズれ!大根おろし



Transform





🇹🇷 2021年度 🇯🇵

# 「国際コラボレーション」 初めてオンラインで開催!



「国際コラボレーション」は全部で5つある本学の短期留学プログラムのひとつで、そのうち最も難易度が高いものとして位置付けられています。昨年は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、2021年度はオンラインでの開催を実現することができました。これは、2011年から始まる国際コラボレーションの歴史上、初めての試みとなりました。

本プログラムには毎年、成績を含む複数の要件を満たした学生の中から選抜された18名が参加します。参加学生たちは、タイ王国ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校（略称：RMUTT）の学生とチームを組み、英語でコミュニケーションを取りながら、ウェブデザイン、ショートフィルム、コンピュータプログラミングの3分野に分かれて作品制作を行います。例年はタイへの10日間の留学を含む20日間で実施しており、以下4つの到達目標を定めています。

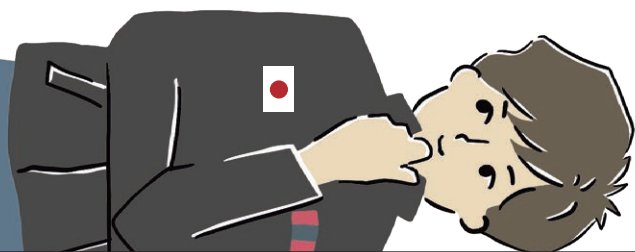
## 国際コラボレーションの到達目標

- ① ITスキルの向上
- ② グローバルコミュニケーション力の向上
- ③ 相互の文化理解
- ④ 国際的な友情関係の構築



参加学生たちは、2021年11月からタイの文化や言葉、英会話、グループワークの進め方などをテーマとした全7回の事前授業を受けたのち、2月14日（月）～18日（金）のワークショップ本番を迎えました。

両大学とも、参加学生のほとんどは英語での実践コミュニケーション経験がなく、最初は緊張した様子でしたが、作品制作に関する打ち合わせや、息抜き時の交流を重ねるうちに互いに打ち解け、各チーム立派に作品を作り上げました。最終日には両大学の教職員や学生に向けて英語で作品のプレゼンテーションを行い、終了後はオンラインの画面越しに集合写真も撮影しました。このプログラムではじめて知り合った両国の学生たちの間には、協働作業をととして確かな友情が芽生え、プログラム終了後も学生同士で活発な国際交流が続いています。



## なぜ情報大がアンプレなのか

## 2022年度入試から

# アンプレ

HIU ENTREPRENEURSHIP CENTER

# 選抜スタート

※正式名称：総合型選抜「起業・スタートアップ人材育成枠」

### 「アントレプレナーシップ（アンプレ）」とは

アントレプレナーシップとは、日本語では「起業家精神」あるいは「起業家の行動能力」と訳され、具体的には以下の考え方や能力のことを指します。

- 1 アイディア想像力
- 2 人脈やネットワーク力
- 3 失敗を恐れず挑戦し続ける精神力
- 4 周囲をけん引するリーダーシップ

そして今、このアントレプレナーシップは起業を目指す人だけでなく、社会で働くすべての人に求められています。AIやロボットの急速な普及により、単純な作業はどんどんと人の手を離れる現代社会では、新たな価値を創造し続けられる人が求められているのです。

### 情報大がアントレプレナーシップに力を入れる理由

アントレプレナーシップは、先に述べたようにこれからの社会で活躍する人材に必須の能力となりつつあり、次代を担う人材輩出を使命としている本学が力を入れる理由の一つですが、理由はそれだけではありません。

アントレプレナーシップと並んで、現代の社会では「高度なICTスキルを持った人材」が求められています。本学は1989年の開学以降、時代に先駆けてそうした人材の育成に力を入れてきました。そして、情報通信技術（ICT）の進歩に合わせて、本学の教育も高度化しています。更に本学は経営・メディア・医療といった専門性の高い分野にも力を入れており、ICTスキルと高度な専門性、そしてアントレプレナーシップの3つが揃っています。新たな価値を創造し、高度に情報化された「超スマート社会」をリードする人材を育成するために、これ以上の環境はありません。

高度なICTスキル



経営・メディア・医療の専門知識・スキル



アントレプレナーシップ



「超スマート社会」をリードする人材

## 本学のアントレプレナーシップ教育の特徴

本学のアントレプレナーシップ教育は、「アントレプレナーシップセンター」が主導し、以下のような活動を行っています。

起業に向けた相談/支援

起業家による講演会

ワークショップ・コンテスト参加

海外留学支援（短期/長期）

デザイン思考（イノベーション創出）ワークショップ

イベント参加

起業に向けた勉強会

ハッカソン参加



起業家による講演会



デザイン思考ワークショップ



学外教育プログラム  
(enPIT-BlzSysD)



学外イベント (NoMaps)



学外教育プログラム  
(DEMOLA HOKKAIDO)



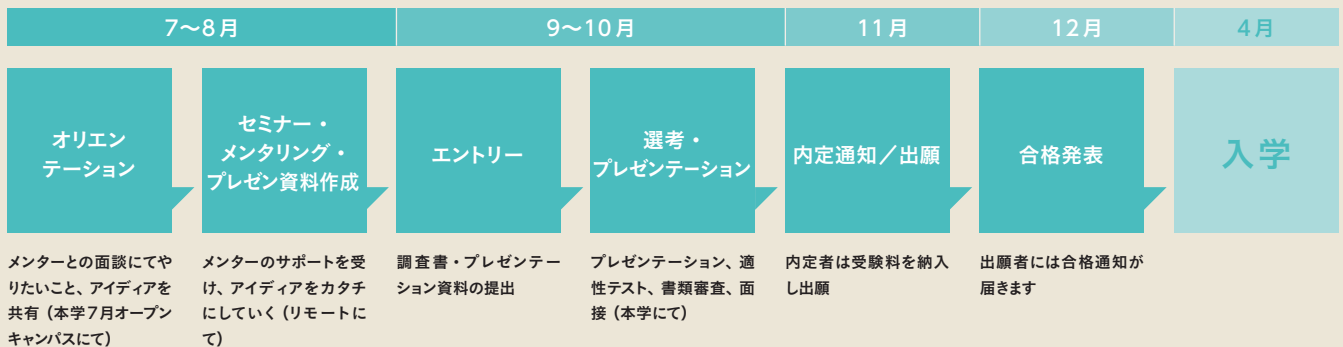
留学支援 (フィンランド)





起業・独立にあたって重要な3領域が学科として3つそろっているのは、北海道情報大学ならではの特徵

## アントプレ選抜の流れ



通常の総合型選抜は、学生から応募(エントリー)があると、その後すぐに選考へと進んでいきますが、本学のアントプレ選抜では、応募の前に「オリエンテーション」を行い、続いて専属の教員により応募者のアイデアを形にしていく「メンタリング」を行います。これにより、応募学生が選考本番で本来持っている力を100%出し切れるようにしています。

### 2022年度入試の応募・選抜結果は以下の通りです。

オリエンテーション参加	28名	エントリー	14名
メンタリング受講	16名	合格者	7名



アントプレナーシップセンター長  
情報メディア学部 情報メディア学科  
やすだ みつたか  
教授 安田 光孝

近年、将来的に「起業」や「スタートアップ」を考える学生が増えています。ひと昔前であれば、例えばデザインを学んだ学生はデザインだけ、プログラミングを学んだ学生はプログラミングだけを仕事にした時代がありました。しかし、現在の社会はそうではありません。専門スキルと横断的な知識を併せ持つ、総合力のある人材が求められています。そうした人材の育成をサポートするのが、本学のアントプレナーシップセンターです。今後さらに変化していく社会に対応し、自己実現を果たしながら地域の活性化に貢献できる人材を育成するため、学生にさまざまな挑戦機会を提供します。ビジネス/デザイン/テクノロジーの分野で豊富な実務経験を持つ教員が、強力にサポートします。

HIU Teachers

先生だって負けてられない!  
**教員活動報告**

Activity Report

( なるほどラボ )

北海道情報大学の女性研究者による「なるほどラボ」は、研究や教育で得た知識を地域の皆さんとワイワイと賑やかに共有する場です。ご好評いただき、3年目を迎えた今年は計3回にわたって行われました。



7.8 THU 第1回

「なるほど!テレビ番組から  
みる経営と会計」  
インスタライブ

先端経営学科 よしみ あき 吉見 明希 先生

コンテンツ産業の近年の取り組みやテレビ番組と会計に関して、「番組作りにかかるお金」と「お金にかかわる人と番組」の2つの見方について取り上げ、「一番面白いのか?」、「アニメはどのようにもうけを出しているのか?」といった気になるお金の話が盛りだくさんな内容でした。



10.11 MON 第2回

「なるほど!  
音の力とサウンドデザイン」  
江別 蔦屋書店

情報メディア学科 ひらやま はるか 平山 晴花 先生

子どもも楽しめる日常の音あてクイズや"キーホルダー付きの鍵を振って鳴る音"を"時代劇の刀で斬り合う場面の音"に加工する過程の紹介などがあり、来場者の皆さんは、興味津々といった面持ちでした。日常の音を意識的に聴いてみるといういろいろな見方ができて楽しい!と気づかせてくれるイベントとなりました。



12.17 FRI 第3回

「なるほど!キャラクターが  
持つ本当の力」  
インスタライブ

情報メディア学科 すぎさわ まなみ 杉澤 愛美 先生

誰もが知っている有名キャラクターのお話に加え、擬人化エージェント、VTuberといった近年のトレンドの紹介、キャラクターの安易な活用についての問題点まで、さまざまな観点が取り上げられ、キャラクターが発揮する力の大きさについて実感させられるイベントとなりました。

「江別 蔦屋書店」のInstagramアカウントから第1回目及び第3回目のインスタライブアーカイブがご覧いただけます。



江別 蔦屋書店  
Instagram  
アカウント



HIU 女性研究者の  
なるほどラボ  
公式 Web サイト

# ソニキット コンサート (Soniclt Concert)

ソニキット コンサート ひらやま  
Soniclt Concertとは、情報メディア学科 平山研究室が主催する、音 (Sonic) とテクノロジー (IT) を中心とした先端芸術表現分野の作品発表会です。

第1回目となる今回は、12月21日に江別市の「ドラマシアターども」にて行われました。今回のプログラムでは、楽器と電子音による音楽作品の演奏や、ゲームツールを用いたインタラクティブな作品、指揮システムのデモンストレーション等、多彩な学生の作品発表に加え、ゲストスピーカーとして英国マンチェスター大学電子音楽作曲専攻教授のRicardo Climent氏をお招きし、オンラインレクチャーも行われました。



音楽やパフォーマンスアート領域において、実演によるアウトプットは大変重要な要素である一方、コロナ禍においてはチャレンジングな状況が続いています。今回のイベントを契機に、さらに革新的な先端芸術作品を学生と共に探究すると同時に、多様化するイベント運営スキルの向上も目指していききたいと思います。



詳細はこちら  
Facebook イベントページ

# ( 天体観測 )

12月26日に札幌市青少年科学館との連携講座として、小中学生を対象とした講座「てづくり望遠鏡を作ろう ～作って知る、天体観測～」を開催しました。

講座には、午前と午後の部、それぞれ定員の6組の親子が参加して、半日かけて望遠鏡のことを学び、実際に望遠鏡を組み立て、その使い方を学びました。



この企画はシステム情報学科の佐藤 隆雄 准教授のゼミ生が中心となって、自分たちが感じている宇宙の魅力を伝えたいと、教材の準備や進行など、当日の運営は全て学生が行いました。



子どもたちは、保護者や学生スタッフの手を借りながら、楽しそうに望遠鏡を作り、最後は立派な望遠鏡が出来て、とてもうれしそうでした。



## 「令和3年度学生満足度調査報告書」に見る

# 学生からの宿題

令和3年11月、4年ぶりに学生満足度調査が実施されました。今回はその調査報告書から、あえて学生の不満や意見・改善要望にスポットを当て、教職員に「学生からの宿題」を投げかけてみたいと思います。

Q 北海道情報大学に入学してよかったですか？

肯定的評価 全体 **83.6%**  
(前回調査よりも8.4ポイント増加)

1年生 **90.2%** 2年生 **74.2%**

3年生 **80.7%** 4年生 **83.7%**

他の質問でも2年生が最も低く、3年、4年と徐々に高くなる傾向が見られました。学生生活に慣れてきた2年目に「不満」や「がっかり」を感じているのでしょうか。

Q 大学から貸与されているパソコンに満足していますか？

肯定的評価 全体 **66.9%** 1年生 **88.4%**  
2年生 **28.0%**

1年生と比較し、2年生の満足度が極端に低くなっています。

Q 夏に暑さ、冬に寒さで困ることは、それぞれ何日くらいありますか？

1ヶ月以上 夏 全体 **41.6%** 2年生 **55.2%**  
冬 全体 **57.1%** 2年生 **72.6%**

夏・冬どちらも長期間(1か月以上)にわたって大学での過ごしにくさを感じているようです。冬の方が割合が高かったのが意外でした。

Q 講義を難しいと思うことがありますか？

よくある 全体 **20.4%** 医療情報学科 **26.7%**  
3年生 **28.7%**

全体で5人に1人、学科や学年によっては約4人に1人が難しさを感じるものが「よくある」と回答しています。

Q 課外活動に対する支援体制はいかがですか？

否定的評価 全体 **33.3%** 2年生 **46.3%**

2年生は半数近くが否定的評価となっています。

※肯定的評価(大変満足している・満足している) / 否定的評価(不満である・非常に不満である)

## 「不満な点を具体的に挙げてください」に寄せられた意見から

もう少し基礎からしっかりと教えて

1年生のうちから専門分野をもっとやるべき

実践的な講義が遠隔での受講を推奨され、満足いく学びが得られなかった

学内Wi-Fiが不安定になりがち

対面授業が少なく、大学生という実感が湧きにくい

図書館の閉館時間が早い 休日も利用したい

遅くまで自習できる場所が欲しい

食堂は夜まで営業して

バスの本数を増やして

スクールバスは無料にして

資格対策を増やして

教科書を買ったが、全く使わなかった

体育館が狭い 倍の広さは欲しい

サークル活動が活発でない

祝日の授業はやめてほしい

※一部表現を要約しています。

今回出された「学生からの宿題」だけでなく、日頃から学生の声や意思を汲み取り、課題解決に取り組むためには、教職員間で共有・協働することが求められていると感じています。さらなる学生満足度向上のため、活動してまいります。

令和3年度 学生満足度調査  
(令和3年11月実施)

学生1,743人 / 回答者781人 / 回答率44.8%

# 市民向け公開講座

北海道情報大学では社会教育活動の一環として、公開講座を実施しています。  
どなたでも参加できますので皆様のご参加をお待ちしております。

グレタ・トゥーンベリさんの  
TED×ストックホルムに  
おけるスピーチ

定員  
15名

5 / 28	講座形態	座学(英語)
	時間	9:30～11:30
	場所	実習室1
	担当講師	竹内 典彦
[土]	対象	一般

ソーシャルビジネスに学ぶ  
新しいビジネスのかたち  
～日韓の事例から～

定員  
30名

6 / 7	講座形態	座学
	時間	18:30～20:00
	場所	札幌サテライト
	担当講師	福沢 康弘
[火]	対象	一般

未病からみた新しい健康観  
～人生100年時代のヘルスケア～

定員  
30名

6 / 23	講座形態	座学(初級～中級)
	時間	18:30～20:00
	場所	札幌サテライト
	担当講師	本間 直幸
[木]	対象	一般

高齢者を見守る  
しくみについて

～今使えるしくみと新しい技術について～

定員  
20名

7 / 2	講座形態	座学(初級)
	時間	10:30～12:00
	場所	札幌サテライト
	担当講師	戸谷 伸之
[土]	対象	一般

回転寿司チェーンから  
読み解く経営&会計

定員  
20名

7 / 5	講座形態	座学(入門)
	時間	18:30～20:00
	場所	札幌サテライト
	担当講師	松本 紗夕子
[火]	対象	一般

夏休み自由研究教室

～子どもビデオ編集体験講座～

定員  
8名

7 / 23	講座形態	映像制作(小学3～6年生)
	時間	9:30～16:30(休憩1時間)
7 / 24	場所	画像メディア実習室
	担当講師	向田 茂/安田 光孝
[日]	対象	小学3～6年生

夏休み自由研究教室

～ロボットで科学を学ぼう・中高生編～

定員  
8名

8 / 5	講座形態	レゴ実習(中学生・高校生)(初級)
	時間	13:00～17:00
	場所	システム制御実習室
	担当講師	棚橋 二郎
[金]	対象	中学生 / 高校生

夏休み自由研究教室

～ロボットで科学を学ぼう・小学生編～

定員  
8名

8 / 6	講座形態	レゴ実習(小学5・6年生)(初級)
	時間	13:00～17:00
	場所	システム制御実習室
	担当講師	棚橋 二郎
[土]	対象	小学5・6年生とその保護者

若者(思春期の子ども・生徒・部下)  
との対人関係を学ぼう

～親・祖父母・教師・コーチ・上司向け～

定員  
20名

9 / 24	講座形態	座学(初級)
	時間	10:30～12:00
	場所	札幌サテライト
	担当講師	渡邊 仁
[土]	対象	一般

身近になりつつある地球観測  
衛星データでできること

定員  
30名

10 / 4	講座形態	座学(入門～初級)
	時間	18:30～20:00
	場所	札幌サテライト
	担当講師	佐藤 隆雄
[火]	対象	一般

人工知能の  
過去・現在・未来

定員  
30名

10 / 18	講座形態	座学(入門～初級)
	時間	18:30～20:00
	場所	札幌サテライト
	担当講師	長尾 光悦
[火]	対象	一般

集まれ小学生!!  
ピカッとプログラミング講座

定員  
15名

11 / 19	講座形態	パソコン実習(小学5・6年生)(中級～上級)
	時間	13:00～16:00
	場所	204教室
	担当講師	向田 茂/安田 光孝
[土]	対象	小学5・6年生

ニック・ヴイチチさんの  
「いじめをとめる方法」の  
スピーチ

定員  
15名

12 / 3	講座形態	座学(英語)
	時間	9:30～11:30
	場所	実習室1
	担当講師	竹内 典彦
[土]	対象	一般

CT?MRI?PETの  
違いって何?病院で行う  
画像検査を詳しく知ろう

定員  
30名

12 / 20	講座形態	座学(入門)
	時間	18:30～20:00
	場所	札幌サテライト
	担当講師	佐瀬 雄治
[火]	対象	一般



## お問い合わせ先

北海道情報大学 通信教育部事務部(公開講座担当)

受付時間: 9:00～17:45(土曜・日曜・祝日/休業)

〒069-8585 北海道江別市西野幌59番2

TEL. 011-385-4427 / FAX. 011-385-1074

hiukouza@do-johodai.ac.jp

## お申込み

お申込み方法、その他詳細につきましては、右記2次元コードよりWebサイトをご確認ください。

情報大 公開講座

検索



04

2022

- 5日(火) 入学式
- 4日(月)~9日(土) 前期スタートアッププログラム
- 11日(月) 前期 授業開始
- 29日(金) 通常授業日

05

2022

- 2日(月) 授業休業日

06

2022

- 9日(木) 前期前半 授業終了
- 10日(金) 前期後半 授業開始
- 10日(金) 創立記念日
- 17日(金)~18日(土) 体育祭

07

2022

- 18日(月) 通常授業日
- 30日(土) 金曜授業日

08

2022

- 5日(金)~6日(土) 合同試験
- 8日(月)~ 夏季休業期間
- 18日(木)~27日(土) 夏期集中授業期間
- 29日(月)~ 追再試験期間

09

2022

- ~3日(土) 追再試験期間
- ~20日(火) 夏季休業期間
- 21日(水) 後期スタートアッププログラム
- 22日(木) 後期 授業開始
- 23日(金) 通常授業日

10

2022

- 7日(金) 授業休業日
- 8日(土)~9日(日) 蒼天祭
- 15日(土) 月曜授業日

11

2022

- 18日(金) 後期前半 授業終了
- 21日(月) 後期後半 授業開始
- 23日(水) 通常授業日

12

2022

- 27日(火)~ 年末年始休業期間

01

2023

- ~8日(日) 年末年始休業期間
- 28日(土)、30日(月) 合同試験日
- 31日(火)~ 春季休業期間

02

2023

- 2日(木)~3日(金) 一般1期入試
- 6日(月)~11日(土) 冬期集中授業期間
- 13日(月)~18日(土) 後期追再試験期間

03

2023

- 17日(金) 学位記授与式

## 退職

教 員 2021年9月30日付

教授 きしだ はじめ  
**岸田 一** 情報メディア学科

教 員 2022年3月31日付

教授 さとう ゆうじ  
**佐藤 裕二** 医療情報学科

教授 いとう かずまさ  
**伊藤 一正** 情報メディア学科

教授 ひろせ れいこ  
**広瀬 玲子** 情報メディア学科

准教授 さいとう やすひこ  
**齋藤 康彦** システム情報学科

准教授 ふくみつ まさゆき  
**福光 正幸** 情報メディア学科

特任講師 えびな はるよ  
**海老名 春代** 医療情報学科

職 員 2022年3月31日付

はしもと みつひろ  
**橋本 充浩** 学生サポートセンター事務室長

## 編 集 後 記

今回の表紙写真は、「雪かきをする学生達」です！情報メディア学科島田ゼミの学生達が、短編映画撮影のため雪かきをするということで、大学広報チームも参戦（雪かき&撮影）。中には学生へ雪かき指導をするメンバーも…（笑）今年の冬は雪かきで大変な思いをした方も多かったかと思えます。と書いている私自身はマンション暮らしのため、ほぼ雪かきをしたことがない道民です。暖かい春が待ち遠しいですね！



## 採用（新任教職員紹介） 2021年9月1日付

経営情報学部  
システム情報学科

講師 わたなべ じん  
**渡邊 仁**



### ご挨拶

教育心理学を専門分野として、「高校における学校適応（高校生が楽しく充実した学校生活を送るためにどうしたら良いのか）」をテーマに研究しております。主に教職課程の科目を担当し、微力ながら北海道情報大学に貢献できるよう努力していく所存でございます。

### 経 歴

前職は北海道立高校の教員で、教科は工業（機械）でした。自動車や工作機械の仕組みを教える授業や、溶接や旋盤作業を教える実習を担当していました。また、定時制高校で長い期間勤務し、不登校や中退する生徒がいる一方、非行をしていた生徒が生徒会長になる姿や中学校に全く行っていなかった生徒が皆勤賞をとる姿を多く見てきたことが、今の研究をするきっかけとなりました。

### プライベート

ウィンタースポーツが好きで、大学時代はスノーボードにのめり込み、国内外のスキー場や（自然の雪山を歩いて登り滑って降りる）バックカントリーに行っていました。今は、中2の息子とスキーに行きますが、すぐに休憩する私に息子は嫌気が差しています。

また、自分で車をいじることが好きで、先日こっそり車高を上げる改造をしたら、妻にバレてしまい怒られてしまいました…。



## 大学広報プロジェクトメンバー

あんばいたかし / おだじま けいた / きのした あつし  
安倍 隆 / 小田島 敬太 / 木下 篤史  
さとう まみこ / なかみち だいき / にたとり かつま  
佐藤 真美子 / 中道 大樹 / 似鳥 克馬

「ななかまど」バックナンバーは  
大学Webサイトでご覧いただけます。

情報大 ななかまど

検索





# 北海道情報大学

〒069-8585 北海道江別市西野幌 59-2  
TEL : 011-385-4411 (代表)